

計画の名称	1 地域における流域一体となった総合的な浸水対策の推進(防災・安全)																														
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)					交付対象	西脇市																								
計画の目標	<p>集中豪雨の多発や都市化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、流域が一体となって総合的な浸水対策を実施することにより、低地の浸水被害を軽減するとともに、安心安全な市民生活の確保を図る。</p>																														
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 河川水位の上昇時に内水により浸水する低地地区の浸水被害の軽減を目標とする。 下水道による都市浸水対策の達成率を55%（H21末）から65%（H26末）に増加させる。 																														
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H21末)</th> <th>(H24末)</th> <th>(H26末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 過去10年間（平成12年から平成21年度までの間）に床上浸水を受けた家屋のうち、被災時と同程度の出水で、依然として床上浸水被害を受ける可能性のある家屋数。</td> <td>188戸</td> <td>—</td> <td>28戸</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 下水道による都市浸水対策達成率（%） ＝ 概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha) / 都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha)</td> <td>55%</td> <td>—</td> <td>65%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>											定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H21末)	(H24末)	(H26末)	① 過去10年間（平成12年から平成21年度までの間）に床上浸水を受けた家屋のうち、被災時と同程度の出水で、依然として床上浸水被害を受ける可能性のある家屋数。	188戸	—	28戸		② 都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 下水道による都市浸水対策達成率（%） ＝ 概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha) / 都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha)	55%	—	65%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																											
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																												
	(H21末)	(H24末)	(H26末)																												
① 過去10年間（平成12年から平成21年度までの間）に床上浸水を受けた家屋のうち、被災時と同程度の出水で、依然として床上浸水被害を受ける可能性のある家屋数。	188戸	—	28戸																												
② 都市浸水対策を実施すべき区域の面積のうち、概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるよう下水道整備が完了している区域の面積の割合。 下水道による都市浸水対策達成率（%） ＝ 概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全である区域の面積(ha) / 都市浸水対策を実施すべき区域の面積(ha)	55%	—	65%																												
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,126百万円	A	1,126百万円	B	—	C	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%																					
事後評価（中間評価）																															
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																															
事後評価（中間評価）の実施体制					事後評価（中間評価）の実施時期																										
西脇市上下水道部工務課において実施					平成29年1月																										
					公表の方法																										
					西脇市役所ホームページに公表																										
1. 交付対象事業の進捗状況																															
交付対象事業																															
A1 下水道事業																															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全事業費 (百万円)	備考														
											H22	H23	H24	H25	H26																
1-A1-1	下水道	一般	西脇市	直接	—	雨水	新設	郷瀬排水区(郷瀬第1号雨水幹線整備ほか)	雨水管□2500×1500～1500×1500 L=300m、樋門改良	西脇市						121															
1-A1-2	下水道	一般	西脇市	直接	—	雨水	新設	郷瀬排水区(郷瀬第5号雨水幹線整備ほか)	雨水管□1200mm L=120m	西脇市						0															
1-A1-3	下水道	一般	西脇市	直接	—	汚水	改築	公共下水道(黒田庄浄化センター改築更新)	処理場の長寿命化	西脇市						155	長寿命化														
1-A1-4	下水道	一般	西脇市	直接	—	汚水	改築	公共下水道処理区の効率的な見直し	効率的な施設計画の作成	西脇市						8															
1-A1-5	下水道	一般	西脇市	直接	—	雨水	新設	郷瀬排水区(郷瀬雨水ポンプ場築造)	排水量180ml/分のポンプ場の新設	西脇市						328															
1-A1-6	下水道	一般	西脇市	直接	—	汚水	改築	公共下水道(西脇地区管渠改築更新)	既設管渠の漏水及び侵入水調査	西脇市						10															
1-A1-7	下水道	一般	西脇市	直接	—	雨水	新設	岡・福地排水区(福地川1号雨水幹線整備)	開水路7720/2700×2400 L=230m	西脇市						63															
											小計（下水道事業）					685															
											合計					685															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

郷瀬排水区においては、平成23年の台風12号の河川の上昇、市街地周辺からの低地地区への流入により甚大な浸水被害が発生したが、平成25年郷瀬雨水ポンプ場の完成、低地地区の幹線水路の完成後の平成26年8月24日時間最大61.5mm降雨に対し床上浸水は0戸であった。岡・福地排水区においては、平成25年の台風18号により床上浸水4戸の被害が発生した、当地区では地元と共に原因究明から計画づくりまで実施したことにより、事前防災活動への意識が高くなった。

II 定量的指標の達成状況	指標①(被災時と同程度の出水で、床上浸水被害を受ける可能性のある家屋数。)	最終目標値	28戸	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	28戸	
	指標②(概ね7年に1回程度発生する規模の降雨に対して下水道整備が完了している区域の面積の割合。)	最終目標値	65%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	65%	
		最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値		

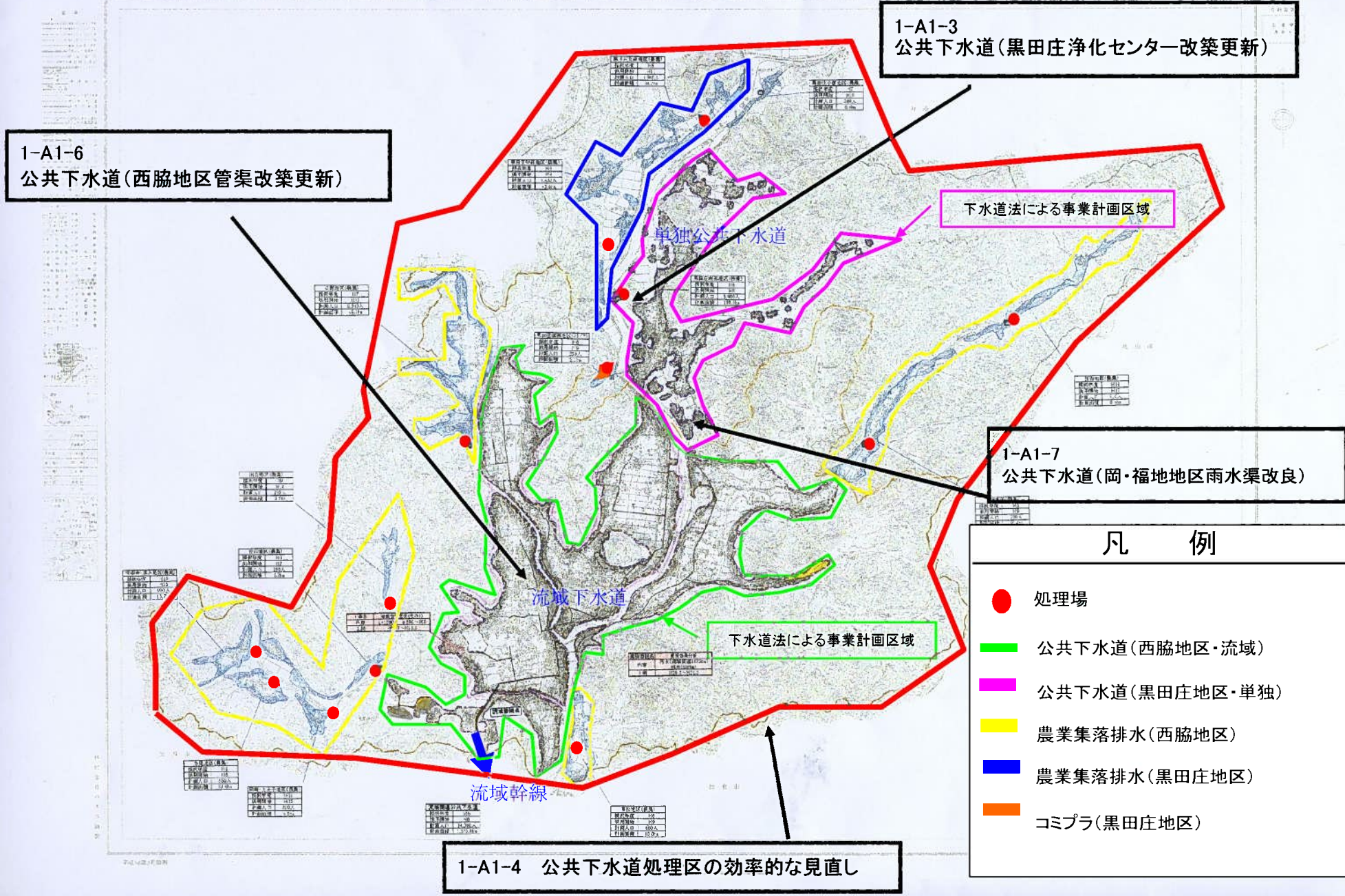
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

3. 特記事項(今後の方針等)

- ・H27にて、西脇市流域関連公共下水道区域における農業集落排水施設の施設統廃合計画、生活排水処理計画の変更などの事業計画変更を実施し、維持管理費の抑制や事故未然防止の観点も含め、施設再編による長寿命化計画を引き続き着実な持続可能な下水道を推進するための基盤整備を実施する。
- ・雨水計画区域拡大における事業認可後には、隣接する市街化調整区域からの流入による断面不足箇所や、市街地周辺の浸水被害の発生した地区を中心に、既存施設を活用した下水道整備を実施するとともに、総合治水を取り入れ、行政と市民が相互に連携しながら先を見越した事前防災行動などの取組みを実施し、浸水被害の軽減に努める。

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 地域における流域一体となった総合的な浸水対策の推進(防災・安全)	交付対象	西脇市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)		



1-A1-6
公共下水道(西脇地区管渠改築更新)

1-A1-3
公共下水道(黒田庄浄化センター改築更新)

下水道法による事業計画区域

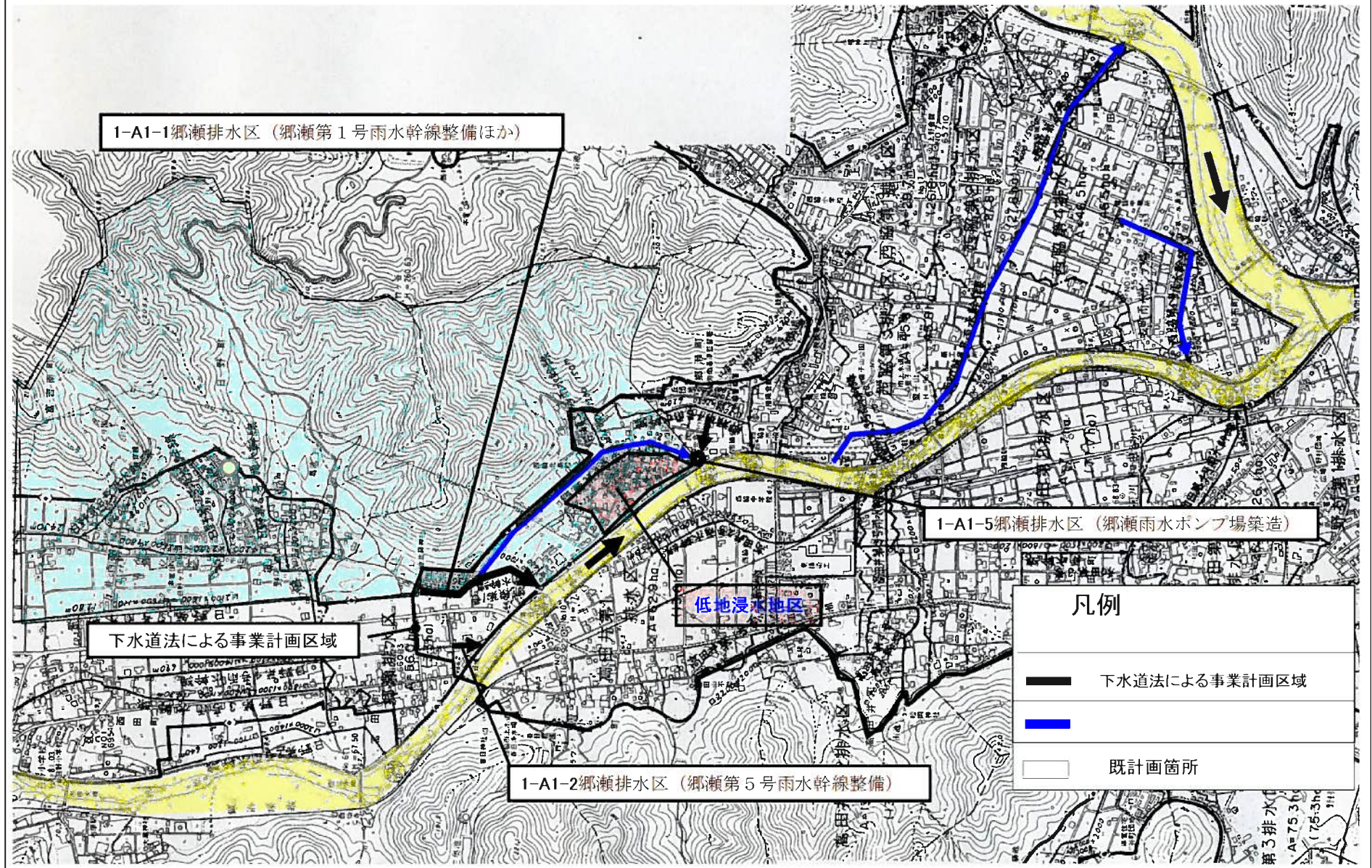
1-A1-7
公共下水道(岡・福地地区雨水渠改良)

凡例	
●	処理場
—	公共下水道(西脇地区・流域)
—	公共下水道(黒田庄地区・単独)
—	農業集落排水(西脇地区)
—	農業集落排水(黒田庄地区)
—	コミプラ(黒田庄地区)

1-A1-4 公共下水道処理区の効率的な見直し

(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	1 地域における流域一体となった総合的な浸水対策の推進 (防災・安全)		交付対象	西脇市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)			



(参考図面) 水の安全・安心基盤整備

